

デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	5				
事業名	「阿波藍」を活用した観光交流資源魅力化プロジェクト							
目的	藍染め普及事業、阿波藍復興事業の中核施設として、地域おこし協力隊による藍関連技術者の養成拠点とするとともにすくも製造工程の見学や藍染め体験等の体験型観光が実施できる「(仮称)勝瑞藍工房本館」【現:あいずみ藍工房本館】を新築する。							
実施内容	藍染め普及支援として次の事業を実施。【地方創生拠点整備タイプ】 1) 敷地造成(効果促進事業) 2) 本館整備(施設整備事業) 3) 駐車場整備(効果促進事業)							
重要業績評価指標(KPI)	指標		開始前	2020	2021	2022	2023	2024
	販売額 (単位:千円)	目標		0	1,250	2,000	2,750	3,500
		実績	0	0	0	458		
	すくも生産量 (単位:kg)	目標		1,700	2,200	2,700	3,200	3,700
		実績	1,400	1,700	1,792	2,000		
	交流人口 (単位:人)	目標		0	2,400	2,800	3,200	3,600
実績		0	0	765	264			
達成度	A:達成 B:概ね達成 (C):未達成							

【事業費と財源内訳】

(単位:円)

2022年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費				2020年度施設整備完了

【2022年度の取組と課題】

地域おこし協力隊の活動拠点として、協力隊と共同で藍染め体験を取り入れたワークショップを実施。本館にて地域おこし協力隊の作品を展示。 今後、観光地化及び藍染普及の拠点として情報発信方法を模索していくことが課題である。
--

【今後の取組】

引き続き、当該施設を「一般社団法人しじゅうはちがん」に指定管理し、藍関連事業の更なる推進を図る。 ○あいずみ藍工房の活用 指定管理者の監修のもと、地域おこし協力隊の活動報告としての作品展示やワークショップ開催等により町内外に阿波藍をPRしていく。また、作業工程の見学や体験等について受入体制を整えていく。 ※一般社団法人しじゅうはちがん 藍産業の発展を目指すため、「藍」文化の発展や普及啓発などの事業に取り組む事業者
--

※藍住町地方創生推進会議の意見

・町内ですくもづくりができたり、藍こなしができたりするような場所がないか聞かれることがあるので、紹介できたり、あっせんしたりできるようにしていただきたい。 ・地域おこし協力隊も頑張っているので、任期を終えた隊員が町内で定着したり起業できたりするようサポート体制を充実していただきたい。 ・当初の構想からすると進捗がゆっくりな印象を受けるので、これからさらに枝葉伸ばして形作っていただきたい。
